

「Zoom」はなぜ日中間で高品質テレビ会議を実現できるのか？ ～テレビ会議システムの比較とZoomの特徴について～

ジョイテル株式会社

【ご連絡先】

info@joytel.jp

<https://www.joytel.jp/>



はじめに — 「Zoom」はなぜ日中間で高品質テレビ会議を実現できるのか？

中国に拠点を持つお客様におかれましては、日中間のテレビ会議の品質には常にお悩みの状況であると想定します。

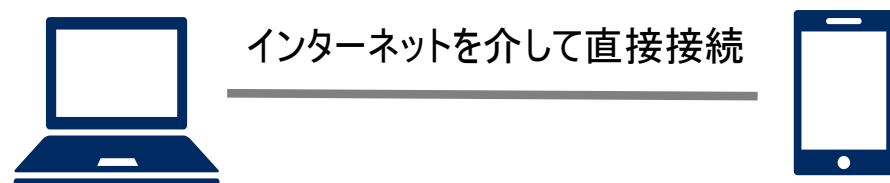
昨今、世界的にも大きくシェアを伸ばしているテレビ会議システム「Zoom」は、特に日本と中国間においても高品質なサービスを実現しています。

本資料では、まずは一般的なテレビ会議システムとZoomの違いを明らかにし、その後にZoomの特徴について説明をします。

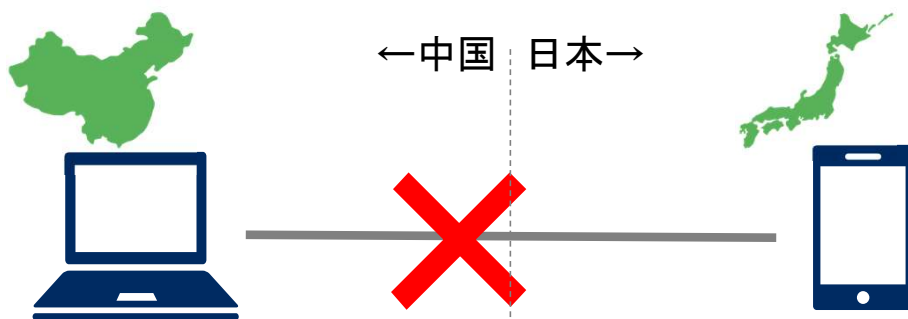
本資料が貴社のご検討の一助となれば幸いです。

テレビ会議比較① — 一般的なテレビ会議システムは日中間通信に弱い

P2P(ピアツーピア)型

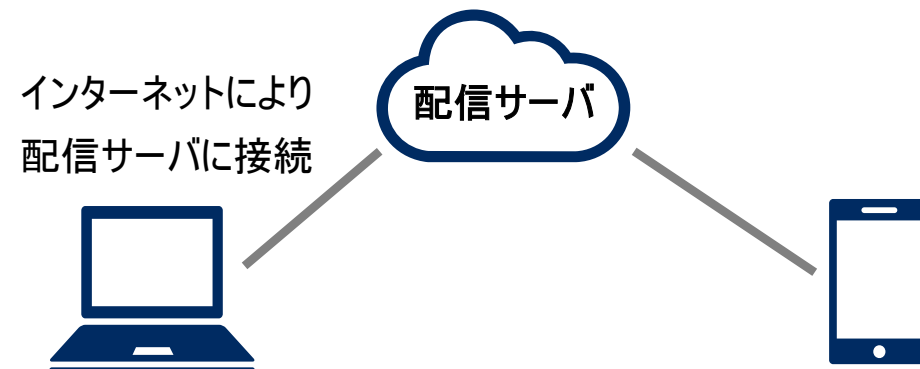


一般的には簡易なシステムで品質も良い

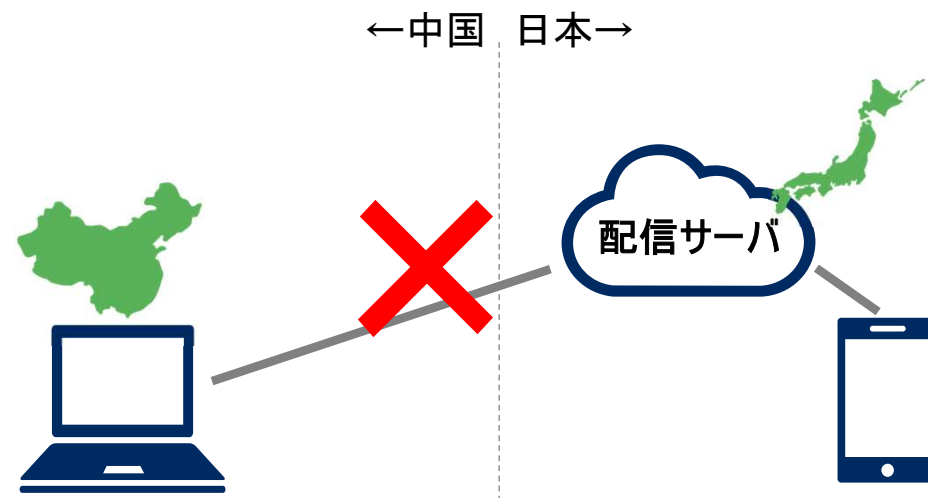


日中間インターネットは不安定かつ中国通信規制を受けやすい

配信サーバ(クラウド)型



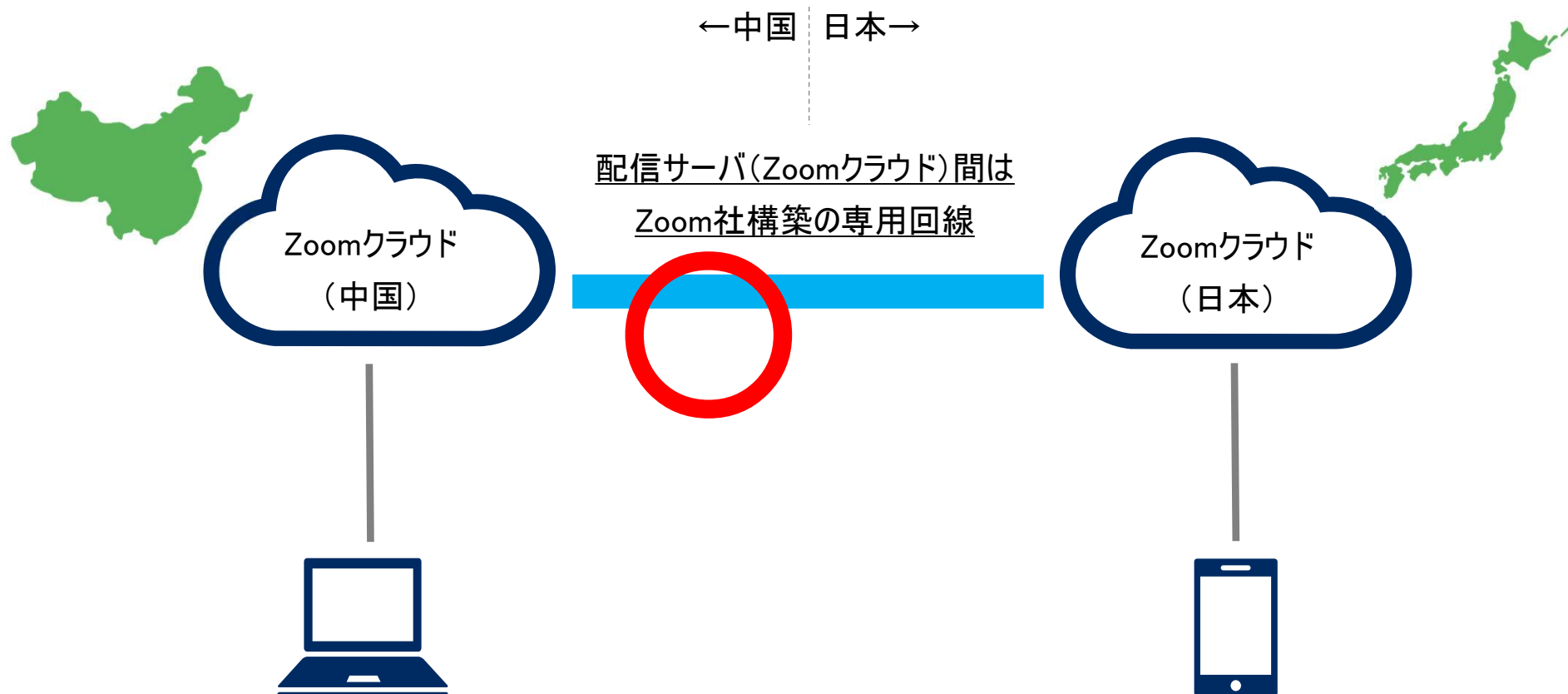
クラウドにより様々な付加価値サービスに特徴あり



配信サーバが日本のみにある場合は不安定になりやすい

Zoomは日中間に専用の回線を構築！だから高品質なテレビ会議を実現

Zoomは日本や中国（その他世界各国）に自社テレビ会議配信クラウドシステムを構築しています。

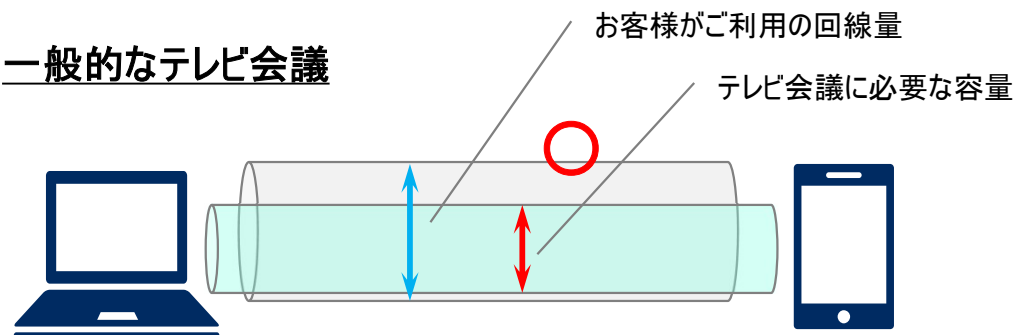


更に独自のデータ圧縮等Zoom社の技術により、快適なテレビ会議を実現しています。
(各ポイントの詳細は6ページ以降のご確認をお願いします)

テレビ会議比較② — Zoomは高品質通信に必要な回線容量が業界最小クラス

(※)本データは2018年12月Web等公開情報に基づく調査

一般的なテレビ会議



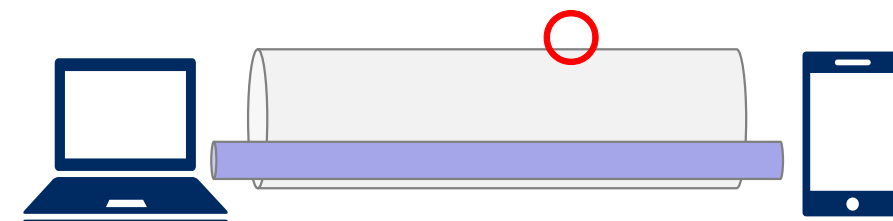
一般的なテレビ会議は必要な容量が大きい(※)

Skype : 1.5Mbps

Google Hangouts : 3.2Mbps

Cisco Webex : 3.0Mbps

Zoom

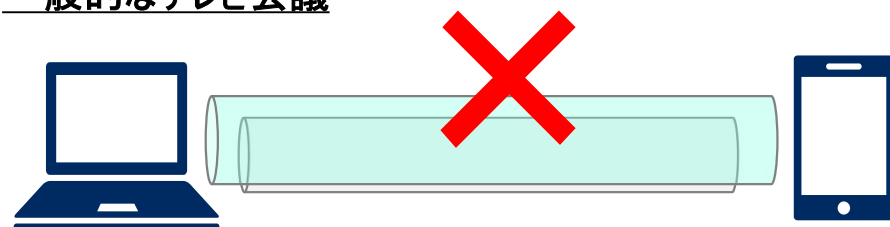


Zoomは高品質通信に必要な容量が小さい

Zoomが必要な回線容量 : 1.2Mbps

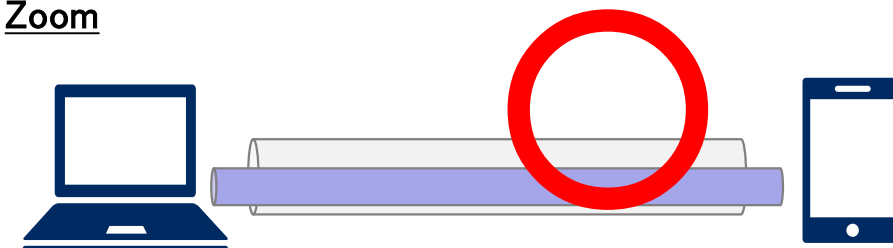
通常回線容量ならそれほど変わらないが、
回線容量が小さくなると

一般的なテレビ会議



必要な帯域より回線容量が小さくなると不安定に

Zoom



必要な帯域が小さいため、回線容量が小さくとも高品質を維持

Zoomは回線容量が小さくなりがちな日本・中国間の通信でも高品質なテレビ会議を実現します。

Zoomの特徴

既存TV会議機器



既存のTV会議システムがそのまま使える！

お客様がお持ちのPolycomやCiscoのTV会議ディスプレイ等がそのまま使えます
TV会議システムを移行する手間はかかりません



もちろん料金も格安！月額2,500円から

ライセンス、アカウント登録は、主催者のみが必要で、参加者のライセンス、アカウント登録は一切不要ですので、月々のコストも安く運用可能（中国ライセンスは別途見積）



これまでのweb会議サービスに無い安定性！

独自の高データ圧縮技術で、これまでのWeb会議サービスには出来なかった、高画質・高品質な画像・音声をモバイル回線メインでも、利用可能

マルチデバイス



マイクやスピーカー、カメラの接続が簡単！

マルチデバイス対応で、PCに接続するデバイスを選ばないので、接続時にデバイスが認識しないなどの手間がかかりません。

ワンクリック



簡単にワンクリックで接続できます！

参加者は、メールで来たミーティングIDをクリックするだけでミーティングに参加できます

クラウドサービス

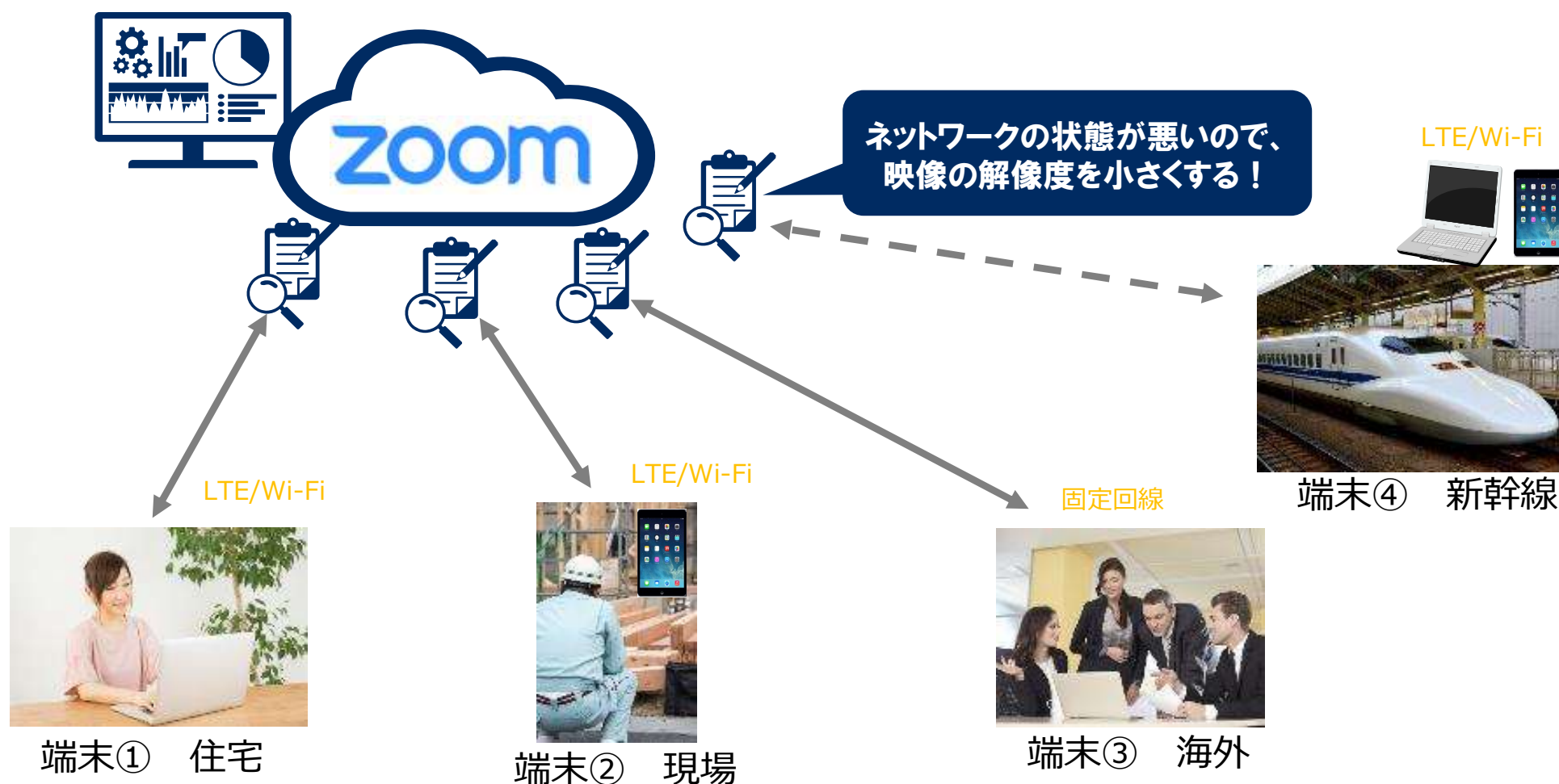


クラウドサービスだから情報共有も簡単！

メジャーなクラウドサービスと連携し、情報共有の効率化を促進

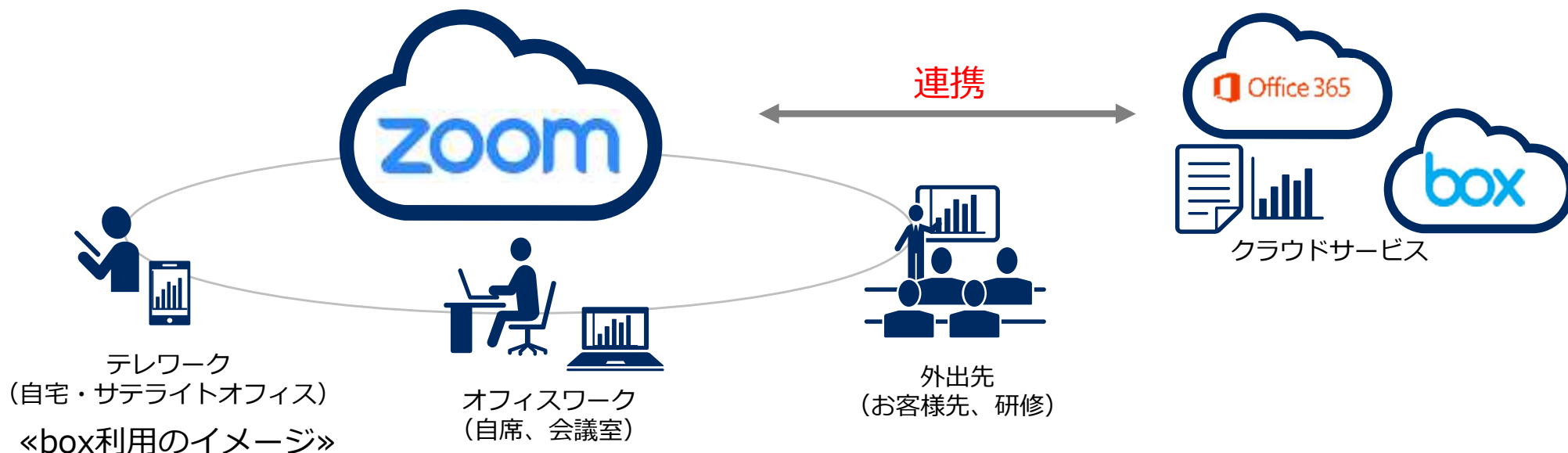
ポイント①通信環境を選ばない高い品質・安定性

インターネットに接続可能な環境があれば、ポケットWi-FiやLTEなどの狭帯域の回線でもご利用いただけます。また、各端末のネットワーク状態(帯域、遅延、パケットロスなど)とCPU使用率をリアルタイムに監視し、環境に合わせた映像・音声をご提供いたします。



ポイント②クラウドストレージからも資料共有が可能

クラウドストレージサービスから資料共有が可能なため、スマホやタブレットのみで会議が始められます。



Zoomで
画面共有



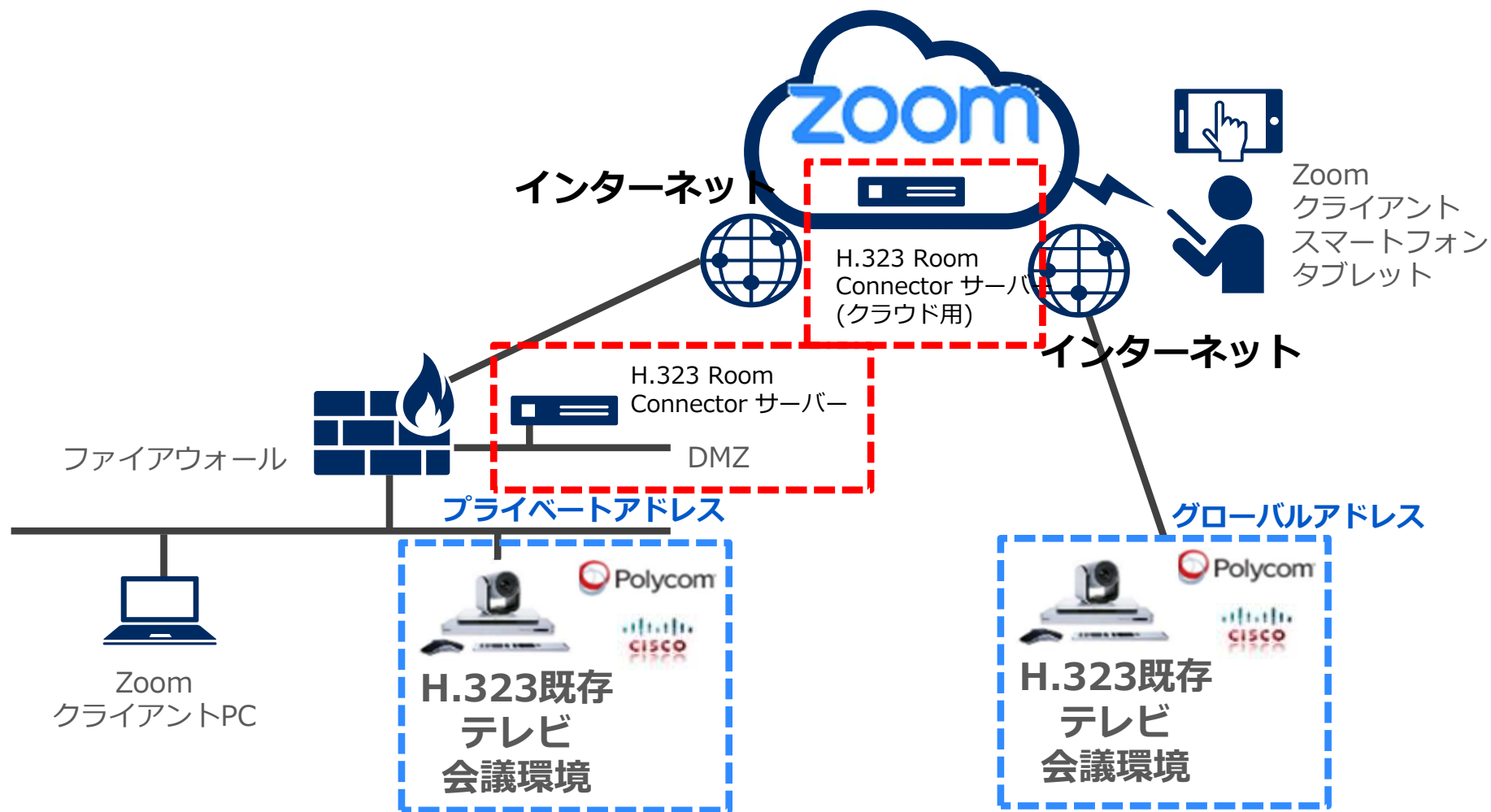
Boxログイン



Boxの資料を共有

ポイント③既存TV会議システムと連携可能

既存のTV会議システムをZoomミーティングに参加することが可能です。



※同時接続数ライセンスが必要です。